

## シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
税法学特論 I (租税法総論)	1・2 年生	選択	2 単位	平山 誠一郎
授業の到達目標及びテーマ 租税法総論について学ぶ。説明、討議及びレポート作成等により、租税法の知識、考え方を身に付ける。				
授業の概要 授業の該当テーマについて、金子宏『租税法〔第 24 版〕』を精読し、法令、判例、学説等の理解を深める。各税法に共通する基本的かつ重要な事項であり、1 回当たりのボリュームもかなりあるため、相当の準備が不可欠である。				
授業計画 第 1 回 租税の意義 第 2 回 租税法の意義と特質 第 3 回 わが国における租税制度の発達 第 4 回 租税法の法源と効力 第 5 回 租税法の基本原則(1) 租税法律主義 第 6 回 租税法の基本原則(2) 租税公平主義、自主財政主義 第 7 回 租税法の解釈と適用 第 8 回 課税要件総論(1) 納税義務者 第 9 回 課税要件総論(2) 課税物件、課税標準、税率 第 10 回 納税義務の成立・承継及び消滅 第 11 回 附帯税、納税者の債権 第 12 回 租税手続法序説、租税確定手続(1) 確定の方式 第 13 回 租税確定手続(2) 申告納税方式、更正の請求、更正・決定 第 14 回 租税確定手続(3) 推計課税、賦課課税方式、確定権の除斥期間、質問検査権 第 15 回 まとめ				
履修上の留意点、準備学習等 (事前・事後学習) 憲法、行政法、民法等の知識が必要である。 各回、少なくとも、2 時間程度の事前学習、2 時間程度の事後学習が必要である。				
テキスト 金子宏『租税法〔第 24 版〕』(弘文堂) 『実務 税法六法』(新日本法規出版) または『税務六法』(ぎょうせい) 中里実他編『租税判例百選〔第 7 版〕』(有斐閣)				
参考書・参考文献・参考資料等 税務大学校講本『税法入門』『国税通則法 (基礎編)』 伊藤義一『税法の読み方 判例の見方』(TKC 出版) 佐伯仁志・大村敦志編『ポケット六法』(有斐閣) 法令用語研究会『法律用語辞典』(有斐閣) 中里実ほか『租税法概説』(有斐閣)				
成績評価の方法・基準 授業への取組状況 (事前・事後の学習状況、授業での発言等)、提出物等の結果を総合勘案して評価する。				